

きぼうへの かけはし

2022年冬号

目次

- P1…高砂市民病院 事業管理者あいさつ
- P2…特集「ERCP(内視鏡的逆行性胆道膵管造影)について」
- P4…緩和ケア・ぶらり、診療所紹介の旅
- P5…特定看護師とは
- P6…部署紹介 4階東病棟
- P7…患者さまへのお知らせ
幼児作品展示
健康レシピ
掲載誌執筆
学会発表～症例と取り組み～
- P8…今年こそ 受けてみようか 内視鏡

高砂市民病院 事業管理者あいさつ

渡部 宜久



令和2年12月に高砂市民病院事業管理者に任命され1年余りが経過しました。この間、市民病院の経営安定化に向けて、病院の全職員がそれぞれの立場で、今までできていなかった事をできる所から改善していくように、いろいろな機会を利用して意識付けを行いました。各診療科の医師とも病院の目指す方向や各科のかかえる問題点や要望などについて話し合い、就任4カ月後の令和3年4月に副院長3名を指名して院内の体制を整えました。

内科の井垣副院長は市民病院健診センター長兼任で、病院の要である内科診療の質の維持・向上だけでなく、市民の健康を守る市民病院独自の質の高い健診体制を構築し、兵庫県内でも低い値である高砂市の健診率を上昇させる事を期待しています。整形外科の長谷川副院長は、整形外科診療の充実、外科系の各科の問題点の把握、岡山大学の医局との連携強化などの担当です。看護局長でもある小幡副院長には、看護局だけでなく事務、検査、放射線、薬局、リハビリ、臨床工学など各部門からの意見の拾い上げと、協働における橋渡し役として積極的に活動してもらっています。

市民病院は地域の公的病院として、新型コロナウイルス感染症に積極的に対応し、令和3年にはPCR検査、感染患者の入院受け入れ、ワクチン接種の3つを同時に実施しました。PCR検査は、令和2年3月に検体採取を開始し、院内で遺伝子検査ができるように検査機器を整え、検体採取専用のプレハブを設置し、現在では1日60件以上の検査ができる体制を整えています。

入院診療は令和2年4月に2床から開始し、最大で23床の入院病床を確保しています。軽症から中等症の入院を対象にしていますが、第3波では延命治療を希望しない高齢の患者さんや認知症の患者さんを受け入れました。令和3年4～5月の第4波では、兵庫県内の重症例が多く拠点病院への転院が困難となり、設備も人も足りない状態で、入院中に重症化した患者さんの人工呼吸器による治療や手術も行いました。担当の内科・外科・麻酔科医師、看護師らが協働して対応しなんとか乗り切ることができました。第5波では重症例の入院はなく、ワクチン接種の効果と考えています。昨年4月からのワクチン接種では、市役所、医師会と密接な連携を取り、医療者に対する先行接種、市役所の集団接種、市民病院の個別接種、三菱重工、高砂商工会議所の職域接種を担当しましたが、医師、看護師、コメディカルと事務局の協働作業で問題なく実施できました。

おわりに、高砂市民病院は、コロナ中もコロナ後も、急性期・回復期・終末期の3つの機能と健診センターの充実により地域住民の健康を支えます。市民病院で対応できない疾患については、超急性期や高度医療を提供する病院へと診療をつなぎ、回復期の機能を生かして、急性期の治療終了後は在宅療養や施設の入所へとつなぐ場を提供します。

今後も病院の全職員が部署をこえて協働し、地域のかかりつけ病院、地域をささえ・つなぐ面倒見のいい病院として日々診療を行ってまいります。

ERCPについて

(内視鏡的逆行性胆道膵管造影)



内科 医長 大西 孝典

資格:日本内科学会 認定医・指導医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本肝臓学会 専門医

内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP: endoscopic retrograde cholangiopancreatography) (以下ERCP)は、内視鏡を口から入れて食道・胃を通り、十二指腸まで進め、胆管や膵管に直接細いカテーテルを挿入し造影剤を注入してレントゲン写真を撮影することで、胆道及び膵管の異常を詳しく調べる検査です。1970年に開発されて以来、これらの臓器に関する病気の診断と治療に大きな貢献をしてきた標準的な検査法です。

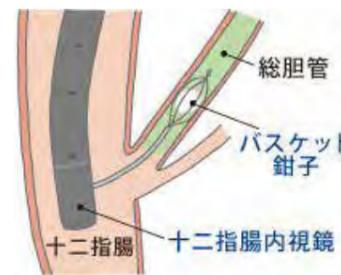
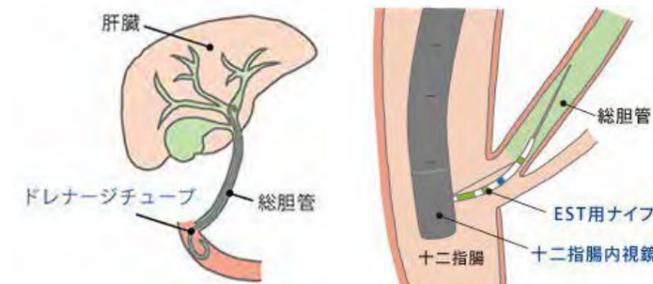
近年は、高齢化・生活習慣の変化などに伴い、胆道結石症・胆膵腫瘍は増加しています。腹部超音波検査やCT・MRIでもこれらの疾患に関する情報を得ることはできますが、ERCPは、直接的に検査ができる上に病気の部分にドレナージチューブ(細い管)を挿入したり、結石の除去や病変組織を採取したりできるため、これらの疾患の最終的な精密検査法として位置付けられています。

胆道結石症(胆石)

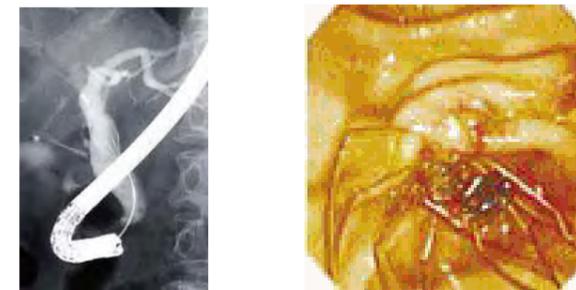
肝臓で作られた胆汁は胆のうで濃縮されて蓄えられ、胆管を通して十二指腸へ流れ出ます。胆のうと胆管を合わせて胆道といいます。胆石は胆のうや胆管内にできた結晶で、胆のうにあるときは胆の

う結石症、胆管にあるときは総胆管結石症、肝臓内の胆管にあるときは肝内結石症といいます。我が国では胆のう結石が最も多く約80%を占めます。この胆石により胆管が塞がれてしまうと、胆管や肝臓に細菌感染を起こしたり、膵炎、黄疸の危険性が出てきます。胆のう結石の60%はコレステロール胆石(コレステロールを70%以上含む結晶)ともいわれています。胆管結石ではカルシウム・ビリルビン結石(カルシウムとビリルビンの結晶)が主体です。胆石が胆のうの中にあるときは何の症状も出ません。胆管に移動し、小さいまま残っているか、無事小腸に流れ出たときも無症状です。しかし、胆石が胆管を塞ぐと、食後数時間後に右上腹部の痛み、吐き気、嘔吐が起こります。胆石特有なものは、右上腹部を圧迫したときの痛みです。胆管がふさがり感染が起こると、発熱、寒気、黄疸がでます。痛みの発作が繰り返し起こる胆のう結石症には、胆のう摘出手術が勧められますが、手術が難しい方には、石を溶かす薬や石を砕く方法を行います。胆管結石症では、ERCPを用いた治療が進歩し主流になっています。重篤な胆道感染や膵炎を起こした場合に対しては、早急にERCPを行う必要があります。胆管と、胆汁の十二指腸への出口で

ある十二指腸乳頭にドレナージチューブを挿入し胆汁の流れを維持したり、胆管の出口にあたる乳頭部に対して高周波装置を用いて切開し、胆管結石を排出します。



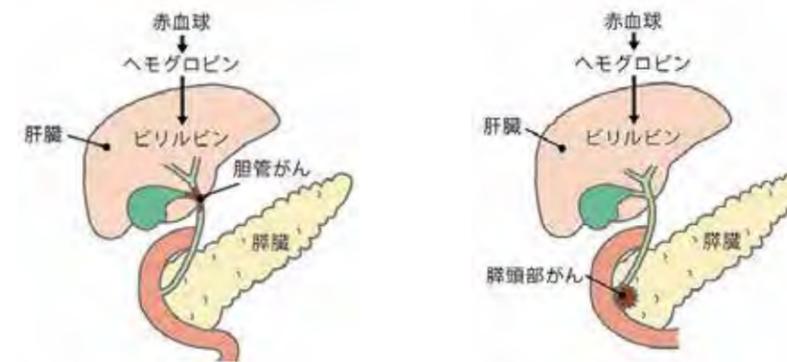
バスケット鉗子による採石



胆道癌、膵臓癌

胆管癌の約90%、また膵頭部に癌ができると黄疸を引き起こします。このような癌に対してERCPは行われます。癌によって細い胆管が塞がれると、胆汁の流れが止まり肝臓内の胆管に胆汁がたまり、そのため、胆汁と一緒に排泄されるはずのビリルビン(赤血球の老廃物)が、血液中に逆行して全身の組織にたまり、白目のほか手のひら、口のなか、皮膚も黄色くなり、尿は褐色になります。

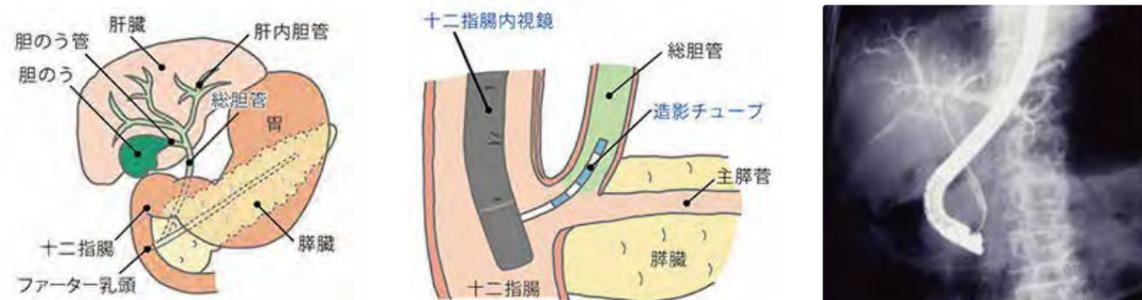
普通便は、胆汁が排泄されるため、その色素で黄褐色をしています。胆汁が便に排泄されていないため、灰白色の便になります。また、たまっている胆汁に細菌が感染して、発熱することもあります。そのような場合もERCPを行い、胆管と、胆汁の十二指腸への出口である十二指腸乳頭にドレナージチューブを挿入し胆汁の流れを維持したり、細胞を採取する器具を用いて細胞の検査を行います。



胆道結石症・胆膵腫瘍の治療につきましては、各種画像診断で診断後ERCPを行い、手術適応であれば外科を含めた他診療科と連携して治療を行います。手術のできない腫瘍に対しては化学療法や症状緩和治療を行います。前述のような症状が起きた場合はお近くの専門機関へご相談ください。

特に腫瘍に関しては、早期発見でなければ手術で根治出来る可能性が少なくなりますので定期的な検診を受けることを勧めます。健康は、御自身の管理意識が第一です。

(文章・画像・図はオリンパス株式会社「おなかの健康ドットコム」より引用)



ERCPのレントゲン画像

【緩和ケア病棟】

当院の緩和ケア病棟は、多くのがん患者さまが入院されます。がんと診断されて、手術、抗癌剤治療、放射線治療を経た方、診断された時点で、既に治療が受けられなかった方など背景も様々です。がん患者さまのつらい症状の一つに痛みがあります。痛みには身体の痛み、心の痛みなどがあります。痛みが強くなると日常生活や人間関係だけでなく、生きる意味・人生・人としての尊厳にまで影響し、最期を迎えるまでの過ごし方にも大きく関わります。それはご自身だけでなく、ご家族にも影響します。その為、痛みを緩和することはとても大切なことなのです。

身体の痛みを緩和する為には薬を使います。痛みが軽度の場合は、私達が日常飲む薬から始めます。痛みが強くなるにつれて医療用麻薬を使用します。麻薬と聞くと「怖い」「飲んで大丈夫?」「あまり使いたくない」と思われる方もいますが、医療用の麻薬であり、専門医師が指示し処方した薬剤なので怖いと思う必要はありません。使用方法も内服、注射、貼付剤を状態に応じて使用します。薬の副作用の対応も万全に行います。薬を上手く使用することで痛みやつらさも緩和し、その人らしく過ごす事ができるようになるのです。

入院患者さまのエピソード

薬で痛みが軽減したAさんは、外出用の器械を使用し注射をしながら家族や友人と外出し地元のイベントに参加されました。

Bさんは医療用麻薬を内服されていましたが、飲めなくなり貼付剤へと変更しました。痛みをコントロールしながら、毎週入浴を楽しみ、緩和ケア食を召し上がり、趣味の陶芸の話をし、娘さん達と入院生活を過ごされました。

登山が趣味だったCさんは、今まで自分が登った山の写真を飾り、友人を招いてとても誇らしげに人生を語り返っていました。

Dさんには長年大ファンの歌手がおられ、病室にも写真を飾り、看護師にも話をしてくれました。「最期にもう一度コンサートに行きたい」。その願いに家族と協力し、介護タクシーには看護師資格を持つスタッフが同乗、出発前に頓服の痛み止めを内服し、痛みが出現すればいつでも飲めるように準備してコンサートに出かけられました。帰って来られた際は興奮冷めやらぬ様子でした。

その他にも痛みのコントロールができ在宅で過ごされている方、満面の笑みを見せてくれた方などたくさんおられます。

がん患者さまは痛みだけでなく他の症状も伴う場合が多いので、このように全ての患者さまが「よかった」と言えないかもしれません。ただ私達は常に患者さまのつらい症状を緩和し、その人らしく生きることを支えたいと思い、日々チームで考え関わっています。

「特定の医療行為を医師の包括的指示のもとタイムリーに行える看護師」です。

特定行為研修制度の背景

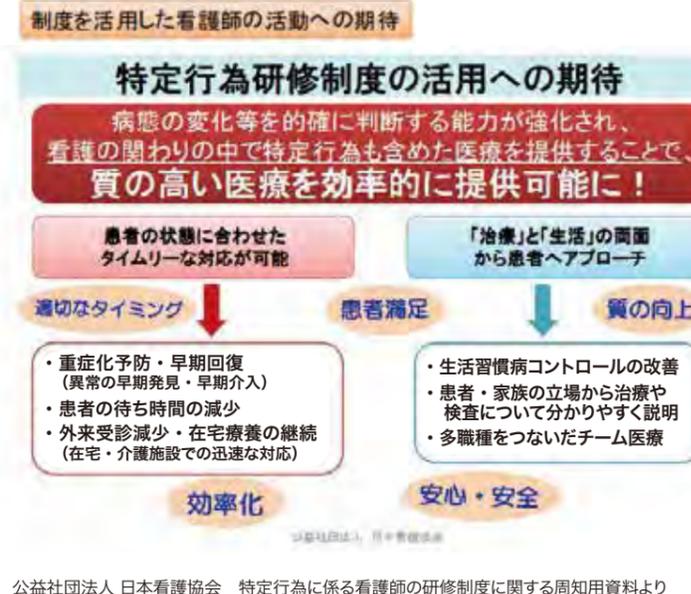
団塊の世代が後期高齢者となる2025年にむけて、厚生労働省は更なる在宅医療を推進しています。医療に関わる人材に限りがある中で、医療サービスをタイムリーに提供するためには、医師だけでなく多職種も一緒に取り組むチーム医療が不可欠となります。

看護師は医師の判断を待たずに現場に必要なタイミングで処置などを行う役割がもともとあり、手順書(医師があらかじめ作成した指示)により一定の診療の補助を行う看護師を養成し確保していく必要があります。

そこで、2015年10月より「特定行為※に係る看護師の研修制度」が開始され、厚生労働大臣が指定した研修機関で学び修了認定を受けた看護師が特定看護師となります。

私は、皮膚・排泄ケア認定看護師として、更なる専門性を高め、慢性創傷の処置やケアを適切なタイミングで実施することで患者さまの早期回復とQOLの改善、重症化予防に貢献したいと考え、2019年に特定行為研修を受講し創傷管理関連を含む4特定行為区分7特定行為の研修を修了しました。2021年3月、認定看護師移行制度による移行を完了し「皮膚・排泄ケア認定看護師」として活動をしています。

現在、院内での特定行為の実施件数はわずかですが、今後の展望として、学び得た知識や技術を活かし在宅医療を視野に創傷と生活の両側面から医師や多職種と連携を図りながら必要なタイミングで早期介入・重症化予防に貢献できるよう活動していきたいと思っています。特定の医療行為を行うことだけが特定看護師ではなく、あくまでもチーム医療の一員です。「あっ、いいところにいた!」と、気軽にかつタイムリーに支える医療の一助を担うことができるよう努めて参ります。



※特定行為とは
呼吸器関連、循環器関連、術後疼痛管理関連、感染関連、創傷管理関連など
38行為21区分の行為があります。(詳細は「厚生労働省→特定行為研修制度」)

ぶらり、診療所紹介の旅

～もっと知りたい、地域のお医者さん～

眼科 多木医院 院長 多木 大輔

出身は加古川市別府町ですが、幼少時は高砂で過ごし、父が昭和36年に高砂に眼科診療所を開設し現在に至っております。病院を引き継ぐまでの約20年間の病院勤務経験を生かして高砂市民病院の先生方と連携し、往診・予約診療を含め、高砂市の方々の目の健康維持に貢献したいと頑張っています。分かり易く明るい雰囲気でお話しをしながら診察を行えるよう努力しています。感動とご当地名物を求める旅行が趣味です。先日は知床五湖散策中にヒグマの親子に出くわしました。

診療情報はこちら ▶ ☎ 079-442-1069

URL: <http://www.taki-ganka.jp/>



三木医院 院長 三木 健史

写真は、今年の収穫風景です。季節外れのスイカがサツマイモのツルの中にできていました。趣味と実益を兼ねて家庭菜園をしています。今年はスイカは種から育てて収穫できました。園芸雑誌を熟読し化学肥料や農薬は使っていないため、虫や雑草との戦いです。野菜の他には、柑橘類やベリー類など果樹栽培もしています。令和3年はワクチン接種の出勤、夏の長雨、在宅医療の時間外訪問などがあり、時間がなく出来はもう一つでした。出身大学の後輩となった、今は2回生と4回生の2人の娘が、虫を嫌って手伝ってくれないのが悩みの種です。

診療情報はこちら ▶ ☎ 079-442-2495

URL: <http://www.eonet.ne.jp/~miki-iin/>



部署紹介 4階東病棟

令和2年4月からコロナ病棟として運用しています。
患者様に安全で安心できる看護を提供しています。

コロナ病棟の看護

感染予防策を徹底しながら療養上の世話、診療の補助や援助を行っています。また、患者様の不安に耳を傾け安心して入院生活を送っていただけるように寄り添った看護を提供しています。



一人一人に寄り添う

患者様一人一人に安全な看護が提供出来るよう症状や治療、患者様の意思など主治医とも情報共有し日々カンファレンスを行っています。また、安心して社会復帰出来るよう他職種と協働し退院調整を行い、自宅に戻られても困らないよう、きめ細かな退院指導もを行っています。



酸素投与中も普段の生活を

写真は(高流量で)高濃度酸素投与が可能で呼吸を補助するネーザルハイフローです。この器械は酸素投与の治療を受けながら会話や飲食が可能で、酸素マスクより閉塞感が少ないという利点があります。

このネーザルハイフローでの治療・管理のもと人工呼吸器の装着に至ることなく回復された患者様もいらっしゃいました。

人工呼吸器を装着しなければならぬ患者様にも対応できるよう計画的にシミュレーショントレーニングを行っています。



コロナ患者様へのリハビリ

COVID-19の治療には肺や呼吸の安静が大変重要になります。そのため日常生活行動に制限がかかり、筋力の低下を引き起こす危険性があります。そこで筋力維持に向け理学療法士が防護服を着用し感染対策を行ったうえ、病室でリハビリを行っています。

看護師もパンフレットを活用し呼吸筋や下肢の筋力低下予防のリハビリ指導を行っています。



患者さまへのお知らせ

ちょこっと入院とは

入院条件に制約がある「レスパイト入院」とは違うスタイルで、入院期間を設定して入院(数日から3週間程度)していただく新しい入院のコースです。

*下記の方が対象となります。

- ◎社会的入院
- ◎褥瘡ケア
- ◎嚥下機能評価、訓練
- ◎介護疲れ、家族行事の
預かり入院
- ◎人工肛門のケア
- ◎筋力アップ(リハビリ)
- ◎栄養強化

申し込み方法

*申し込み者(患者・家族、かかりつけ医等、地域の医療従事者)より、当院地域医療連携室に電話でご相談下さい。

*かかりつけ医のある方は、必ず医師と相談して下さい。

幼児作品展

患者様やご家族の癒しとなるよう、市内の公立幼稚園・保育園・認定こども園に通う子供たちの作品を温室横に展示しています。今回は「北浜こども園」「高砂こども園」の皆さんが作ってくれました。秋祭りの活気を感じる作品と冬景色のなかで遊ぶ楽しさを感じる作品です。各

施設に協力していただき定期的に交換していく予定ですので、来院の際は心温まる作品をご覧ください。



北浜こども園の作品



高砂こども園の作品

※公式Facebookにもアップしています!

健康レシピ

穴子の炊込みご飯

アンケート結果でご要望が多かった穴子料理として、焼き穴子を使った炊込みご飯をご紹介します。

エネルギー 321kcal 食塩相当量 1.1g

<材料(4人前)>

- 米……………2合(300g)
- 焼き穴子……………60g
- 人参……………30g
- 糸みつば……………7g
- おろし生姜……………5g
- 濃口醤油……………小さじ2
- 薄口醤油……………小さじ1
- 料理酒……………大さじ1/2
- サラダ油……………小さじ1/2
- 粉末だし……………1.5g
- 塩……………0.6g
- 水……………適量

<作り方>

- ①米は水で洗って、水気を切っておきます。
- ②焼き穴子と糸みつばは1cm幅に切り、人参は千切りにします。
- ③炊飯釜に米を入れ、④を加えて2合のラインまで水を加えて混ぜます。
- ④焼き穴子の半量と人参を上に乗せ、炊き込みモードで炊飯します。
- ⑤炊きあがったら軽く混ぜて蒸らした後、茶碗に盛り付け、焼き穴子(残りの半量)を散らし、糸みつばを添えて完成です!

※お好みできのこや根菜、うす揚げやこんにやくなどを加えていただいても、穴子の旨味と相まって美味しくお召し上がりいただけます。



POINT

穴子には、疲労回復、免疫力向上、感染症の予防、眼精疲労の改善、体力向上など、様々な効果が期待できるといわれています。特に、免疫力向上が期待できるビタミンAの含有量は魚介類の中でトップクラスです。また、生姜を加えることで穴子の生臭さが解消され、美味しく仕上がります。

掲載誌執筆

ナースポケットブック
(出版社:株式会社学研メディカル秀潤社)
2021年10月5日初版
看護局 中瀬 睦子(皮膚・排泄ケア認定看護師)
タイトル:褥瘡・ストーマ・排泄・スキンケア

学会発表 ~症例と取り組み~

第23回日本骨粗鬆症学会 骨と共に歩む未来
看護局 小林 由枝
演題名:大腿骨近位部骨折患者の転帰先は、骨粗鬆症治療の導入に影響を与える
第35回日本手術看護学会年次大会
看護局 井上 翔伍、後藤 悟史
演題名:積極的に介入した術前手術室見学実施後の患者の思い

今年こそ受けてみようか 内視鏡

「カメラの検査、した方がいいのは分かっているけど、ちょっとね・・・」

「今まで大きな病気していなかったし、私は大丈夫よ!」

「今はコロナも心配だし、落ち着いてから検査しようかな・・・」

その気持ち、とてもよく分かります!でも、あえて私たちは**内視鏡看護師**として皆さんにお伝えします!



症状が出る前にカメラの検査をしましょう!

進行ガン(悪性腫瘍)発覚の現状

2021年4月~9月当院内視鏡検査分
胃カメラ:807件 うち悪性腫瘍8件(約1%)
大腸カメラ:375件 うち悪性腫瘍18件(約5%)



悪性腫瘍と診断されたほとんどが、症状(便秘異常、体重減少など)を自覚後、1ヶ月以上経ってから受診し半数以上が便潜血陽性を指摘され内視鏡検査を受けました。

当院でも早期ガンを対象に 内視鏡治療(ESD)を開始しました!

定期的な検査を行うことで、早期のガンを発見することができ、内視鏡での治療が可能となります。

内視鏡治療(ESD)のメリット

- ・お腹を切らずに治療できる
 - ・治療後の生活に影響が少ない
 - ・治療後の痛みがない
- ⑤内視鏡で取れない場合は外科手術が必要

内視鏡センターの取り組み

<胃カメラ>

- ①「経鼻内視鏡」ができます(適応については要相談)
- ②希望により鎮静剤を使用して楽に検査を受けることができます(当日乗り物の運転は禁止)
- ③空腹であれば予約がなくても検査できる場合があります(医師の診察が必要)

<大腸カメラ>

- ①検査前説明を行い心配や不安の軽減に努めています(食事や下剤について説明します)
- ②病院で下剤を飲むことができます(自宅で飲む事に不安がある場合はご相談下さい)
- ③全検査に鎮静剤を使用し、楽に検査を受けることができます(当日乗り物の運転は禁止)

※胃カメラと大腸カメラは、同日にセットで受検可能です。受診時間が取りにくい方にオススメです。

体の中は目に見えませんが、胃や大腸はその人の暮らしに直結しています。
人生100年時代に1日でも1年でも長く、「美味しく食べて自分らしく生きるため」に早めの内視鏡検査、受けてみませんか?

Takasago Municipal Hospital

高砂市民病院 広報広聴委員会 広報紙編集チーム

〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981 FAX 079-442-5472
URL <https://www.hospital-takasago.jp/>

高砂市民病院 検索



研修やオープン カンファレンスなどの内容は、
ホームページをご覧ください。

また、当院の活動については公式Facebookページを
ご覧ください。

健診に関する情報は
こちら→



通算 145号